

広 報 = 165号

なかつえ

人口と世帯

9月30日現在
 ()内は前月比
 人口 2,275(-3)
 男 1,100(-1)
 女 1,175(-2)
 世帯数 599(0)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・斉藤隆一

印刷・日田・朝日堂



ごはんをたべると「ふとる」「高血圧になる」「頭が悪くなる」とよくいわれますが、米の中には、血圧を高めるような成分は含まれていません。同様に脳の働きを妨げるものも含まれていませんし、必要以上にカロリーをとれば何を食べてもふとるのは当然です。むしろ、欧米では健康食として米がクローズアップされていくくらいです。

大切なカロリー源であるとともに、すぐれたタンパク源である米を、もう一度見直したいものです。

1977

10月号

<11月>

- 1日 文化財保護強調
- 7日 週間
- 3日 文化の日
文化祭～中津江中学校にて各種行事
- 7日 糖尿病週間
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 26日 全国火災
予防運動
- 27日 読書週間

行事



第10回体育祭

さあ!!

うって...はしって!

十月十日体育の日、栃原グラウンドで一般男子ソフトボール、中津江中学校グラウンドで一般女子ソフトボール大会がそれぞれおこなわれました。秋晴れの好天に恵まれた村民皆体育の日、応援を含み、およそ四百名の人が楽しい一日を過ごしました。

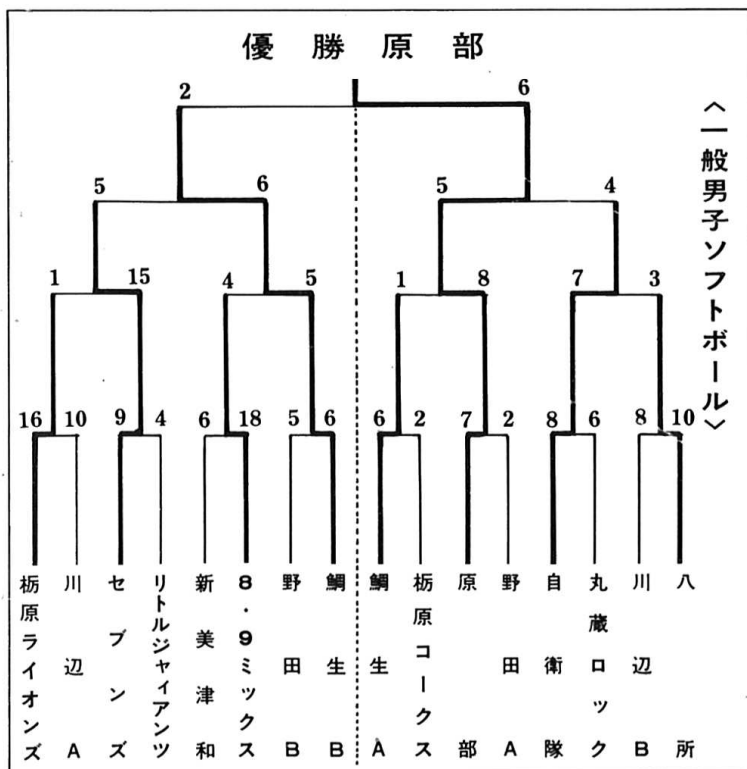
〈一般男子〉 原部に初栄冠

午前七時三十分開会式。八時試合開始、斉藤村長の始球式により、体育祭一般男子ソフトボール大会の熱戦のひぶたがきらめました。今年で十回目となるこの大会、参加者数はおよそ二百五十名、参加チーム数は昨年より一チーム多い十六チーム、一部落で二チーム、小部落で一チームと苦しい台所をのぞかせながら、村民皆体育の日、すがすがしい好試合をみせてくれました。

試合方法はトーナメント方式で、一回戦、決勝戦が七回、二、三回戦は五回でおこなわれました。この日にかけて練習したが、一回戦で敗れて、もう一試合と残念がる選手も多くいました。時間が都合でトーナメント方式しかできず、仕方ないところだと思えます。決勝戦は、原部と鯛生Bが対戦し、六対二で原部チームが勝ち初優勝しました。本命なしの大会と言われるように、ここ二、三年決勝に進出したチームはすべて別のチームで、おもしろさを増す大会といえます。また、この大会も十回目になると、相手のチーム力といい、バッターのくせなども考えたり、サインなども出すチームもあり、高度なものになってきました。応援の方も板に付いたようで、選手同様にチームに貢献していたのではないのでしょうか。選手の動きに奥さん、

子どもさんの黄色い声や拍手がおこり、終始なごやかな中で試合が進められていきました。

今回で目立ったことは、各チームとも高年令者が非常に多くなったことです。中津江村のソフトボール熱は高いのですが、それにつれて年令の方も高くなりました。その高年令者の方のびのびとして、若さあふれるもので、次回からは年令基準を高くしてみる必要があるかもしれません。



優勝した原部チーム

へ一般女子へ 丸蔵が三年連続

一方、今年で第三回となる一般女子ソフトボール大会、参加チームは昨年より一チーム多い五チーム九十名の参加で、中津江中学校グラウンドでおこなわれました。

午前九時に試合開始、練習は男子チーム以上におこない、体育祭にかける意気込みはすばらしいものでし

た。今年は参加五チームのうち、部落単位のチームが八所、栃原と二チームあり、部落でも女子チームができたという事は、大変すばらしいことですし、今後まだまだまだこういうチームがふえていくのではないかと思います。

試合はトーナメント方式で、丸蔵と八所が決勝へ進出、九対一で丸蔵チームが勝ち、三年連続優勝しました。この大会も三回目となり、技術的には年々進歩しているようですが、ルール

や細かい点がわからないのか、まだまだ動きが不安定でした。またそれが逆に試



優勝した丸蔵チーム

合をおもしろくもしていたようです。応援の方は子どもさんが多く、お母さんの動きにキャーキャーと声を出したり、にぎやかさでは男子チームも勝てなかったようです。

せっかくこの大会にできたチーム、来年の体育祭までは活動がなく、もったいないような気がします。時々、他チームとの練習試合などやってみてはどうでしょうか。ルールなど細かい点がその度にわかってくるのではないかと思います。

最初で最後の大会 に出場して 自衛隊中津江村作業隊

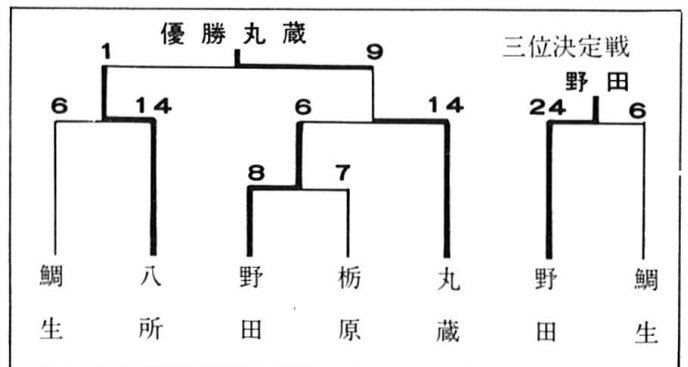


村内行事であるソフトボール大会で、教育長さんのあいさつに「明るく相互の融和親善と特別参加で自衛隊も出場」との紹介で、この大会に村民同様に参加させて頂き、ありがとうございました。好天に恵まれたグラウンドに、「父さんガンバッター」、「しっかりとのむヨー」の声もきかれ、また珍プレー、好プレー続出で面白い楽しい1日でした。私たちも優勝するを合言葉にがんばりましたが残念なことに準決勝で負けてしまいました。しかし、親善の役目を果し満足しています。今後も作業終了まで村民の1人と思っ

ていきたいと思ひます。さて、私たち隊長以下24名9月1日を期して、中津江中学校敷地造成工事に期待と不安を胸に抱き、村民の皆さまに応えるべく覚悟で専心目的に向って前進してまいりました。おかげをもちまして好天に恵まれ、作業の進行状況も予定より進み、ひと安心といっところ

です。そこで中津江村の人々と接して思うことが3つあります。その1つ、子どものしつけです。朝夕あうたびにあいさつ、頭を下げてくれることです。私たちはあいさつをされるたびに、1日も早く作業の完成をと心に言いかせています。2つ目は村民の皆さまの心づかいです。素朴で親近感が一段と深まり、心温まる思いです。3つ目は村長さんをはじめ役場の方です。いろいろな面で無理をお願いし、不平も言わずにかなえて下さって本当にありがたく思っています。

今後もさらに努力し、専心職務にがんばり1日も早く完成の喜びを村民の皆さまとわかちあいたいと思ひます。



議会だより

水を守る！竜門ダムへの分水

十月六日、中津江村議会は、熊本県菊池市に建設される竜門ダムへの分水問題で臨時議会を開き、津江川の分水はしないということ

を議決しました。 十月六日、中津江村議会は、熊本県菊池市に建設される竜門ダムへの分水問題で臨時議会を開き、津江川の分水はしないということ

を議決しました。 竜門ダムは農業用地のかんがい、治水などを目的として建設されるものですが、菊池川の流水量が少ないため、津江川の分水を希望していたものです。村議会は今後の新しい村づくりを進

めていくうえで、また水と緑をキャッチフレーズとしていくために分水することは困るということで議決しました。 決議文によると、「村は下笠ダムの建設によって、住民、公共団体ともに有形無形の被害を受け、残された住民は村の再建をも危くされている。さらに、ダム建設による村の後遺症はいやされておらず、地すべり、

飲料水汚濁等、住民に多大の損害を与えています。この中にあって住民は緑の森林とそれから流れ出る清く豊かな水とによって、よくやく村の再建を固ううとしておるとき、この水を竜門ダムに分水することは、中津江村住民の将来をも危くするものである。」ということにより、村議会は、この分水については絶対反対ということ、出席議員十一名が全員一致で可決されました。 なお、今後この問題に對処していくため、議会内に「村水資源対策特別委員会」を設けました。

11月26日～12月2日

全国火災予防運動

寒くなると、一般家庭では石油ストーブ、こたつなどの暖房器具が使用されます。それにもなつて、暖房器具が原因の火災が急増します。

②カーテン、障子、ふすまなど燃えやすいものの近くや、燃えやすいものが落下するおそれのある場所では使用しない。

暖房器具には、その器具に應じた正しい使い方があります。取扱い使用書や注意書をよく読んで危険のないように使用しましょう。

③故障したり、破損した器具は使用しない。

①出入口、階段下など通行の邪魔になる場所では使用しない。

④器具の周囲を、いつもきちんと整理し、燃えやすいものは近くに置かない。

⑤器具の点検、整備をまめにする。

⑥洗たくものなどの乾燥器代わりに使用しない。

〈食生活〉 料理ことわざ

私たち日本人は昔から味覚にすぐれた民族だと言われてきました。しかし最近インスタント食品の普及で、こうした伝統も次第にその影が薄れ始めています。長い時間の中で世代から世代へと受け継がれてきた味は、一方で料理のことわざも伝えてきました。

毎日の食生活をよりおいしく、より楽しいものとするために……

▽うまいまずいは塩かげん……ほんのひとつまみの塩が材料の持ち味を引き立てます。逆に塩からくて食べられません。分量はもちろん、入れるタイミングも。

▽サンマが出るとアンマ引込む……栄養豊富な秋1番の味覚。サンマが出ると元気もりもり、アンマいらすになるという。

▽はまぐりは水から、あさりは湯から……材料の持ち味をいかす貝汁の調理の順序。はまぐりは、いきなり湯に入れると口があきません。

▽みそ汁のみそは火から下ろす直前に……みそ汁を煮立てては、せっかくの香りがなくなります。このタイミングがみそ汁のうまいまずいをきめます。

▽蒔絵の重箱に焼いも……見せかけだけの豪華さではなく肝心なのは、中身の味と栄養。

▽さし油する料理下手……使い古しの油に新しい油をつぎたすのは無意味。新しい油は酸化して台なしです。天ぷら揚げは4回が限度。

▽とけた冷凍食品すぐ料理…あわてて冷凍庫に入れても、工場のような急速冷凍は無理。うっかりすると変質します。

▽ぬかみそは日に3回底から混ぜる…ぬか漬けの味と香りのもと、乳酸菌の働きをよくするため、酸素を十分に補給してやりましょう。

▽なますはタテ刻み 千六本はヨコ刻み……同じ大根も、きざみ方を変えるだけで味わいも違って来るから不思議です。

丸歳小五年
永瀬 はるみ



わたしの家は、祖父、祖母、父、母、私、妹、弟の七人家族です。父と母は、毎日山仕事に行ったり、畑仕事をしたり

しています。だから、父と母はいつも夜おそく帰ってきます。雨の降る日は家にとどきいますが、いない日の方が多いです。夜になると、いつも父から、「こら！」と大声でどなられます。ときどき父が、「かたをもんで」と言ったり、「こしをたたいて」と言います。だから私は、「うん」と言っていたり、もんだりしてあげます。家での仕事は、祖父と祖母がおもにします。家での仕事は、私も少しできるの

で、休みの時や早く帰ったときに手伝います。祖母といっしょに食事のしたくも手伝います。祖父は、そうじが好きか、どうかはわからないけれど、毎日わたしたちの部屋から、ざしき、茶の間、部屋じゆうきれいにします。わたしたち三人は、いつもけんかです。「バカ」、「アホ」といって、どっちかすぐけつたり、たたいたりするから泣いてしまします。ときどきけんかをしない日があります。その日はとてもしずかです。それから家族の一人でもいなかたらさびしいです。でも、七人家族、毎日楽しくくらしています。わたしの家族はこういう家族です。

電気ワンポイント 電気コタツ

コタツで一家だんらん。こんなとき、下にマットを敷くと、たたみに逃げる熱をふせぎ、2割くらい保温効果がよくなります。赤外線ヒーターのものは、すぐ暖まるので、出るときは手まめにスイッチを切るようにしましょう。また、人数に応じて適温に調節しましょう。

注意することは、横にしたり、逆さにしたり、洗たく物の乾燥などに使用しないようにしてください。乳幼児には特に温度に注意してください。



<大分の昔話>

テレホンサービス

「ふるさとづくり運動」「ふるさと見直し運動」の1つとして「大分の昔話」のテレホンサービスを実施することになりました。

10月20日から大分県内各地方の面白い話を週1回テープをとりかえて、来年8月までおきかせします。

(09732)3-3000をダイヤルしてください。(通話料はかかりません)

(例)10月31日~11月6日まで、ゆうれいになったヘビ

わが国には約百万人の糖尿病患者がいます。とくに四十歳以上の男子は、二十人に一人が重症、軽症を含めて糖尿病といわれています。

患者は全国に百万人

糖尿病週間

11月7日~13日

- ①のどが乾き、驚くほど水を飲みたくなります。
- ②尿の回数も量も多くなります。
- ③異常なほどの空腹感や、甘いものをほしがります。
- ④ダルさ、疲れ、冷汗、どろろ、目まいなどが起こることもあります。
- ⑤視力が弱くなります。
- ⑥頑固な神経痛、しびれ、手足のしびれ、夜尿頻数が増えます。
- ⑦化膿しやすくなったり、発熱しやすくなります。
- ⑧若いのに、血圧が高くなります。
- ⑨狭心症の発作をおこすことがあります。

11月12・13日に ふるさと祭り、林業祭

「豊かで、美しく、健やかに。」を合言葉におこなわれている「大分県ふるさとづくり運動」も2年目。11月をふるさとづくり月間として11月12・13日の2日間、日田市を中心に第2回県民の日・ふるさと祭りが開催されます。主な行事は、県民の集い、青空市場、こども広場、記念講演会、県産品の展示即売、民俗芸能祭など、誰でも楽しめる内容のものです。

また、この一環として日田市郡第1回林業まつりが開催されます。林業をとりまく情勢は、材価の低迷、担い手不在などきびしい状況にあり地域林業の振興は長期的な視野において考えなければなりません。よい木づくりは、よい山づくりから・豊かなふるさとづくりは緑から・植えた木をみんなで育てる育樹の心をスローガンに12日・13日におこなわれます。内容としては、花木・盆栽展示即売会、苗木無償配布、音楽祭、講演など、日田市中央公園、市民会館でおこなわれます。

表彰されました 12名の優良運転者

昭和52年交通関係表彰で、優良運転手として次の方々が表彰されました。(敬称略)
平利治・永瀬源似・永瀬康雄・猪野敬子・猪野次生・片桐愛子・川村恭一・岩下延美子・武原良雄・水野英男・杉野重徳・平野吉秋

福祉年金の 支払日が変わります

(1)支払月がひと月繰り上げる

老令福祉年金や障害福祉年金は、毎年1月、5月および9月(これらの月を年金の支払月といいます)に支払われていましたが、今年10月から毎年12月、4月および8月の年3回支払われるように変更されました。また12月に支払われる年金をひと月繰り上げて11月にうけることを希望し、請求したときは11月に支払をうけることができるようになりました。

これによって、日頃から受給者をはじめ各方面から強い希望のあった、いわゆる福祉年金の「盆暮払い」が実現することになり、1ヶ月早く年金が支払われるようになりました。

なお、この支払月の変更は今年12月分(12月分の1ヶ月繰り上げて11月に支払われる場合は11月分)から実施。

(2)支払日の変更について

福祉年金は郵便局を通し支払われることになっており、それぞれの支払月の6日から支払われていましたが、今年12月に支払われる分(12月分を1ヶ月繰り上げて11月に支払われる場合は11月分)より支払月の11日から支払われることに変更されました。

あなたもボランティアに! 30周年をむかえた共同募金

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が10月1日からおこなわれています。

この運動は昭和22年に創設され、それ以来満30年を経過していますが、この間に拠出された浄財は1千億円を超えています。また寄付額もさることながら、国民相互の社会連帯感を高めるために、この運動が果たしている役割は見のがすことができません。

30周年にあたることから、「自らが参加する共同募金」への方向転換に今年重点目標がおかれ、寄付金の配分についても、ひとり暮らしの老人や心身障害児者に対する住宅福祉サービスを重視するなど新機軸を打ち出そうとしています。

10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国的に街頭募金、戸別募金、法人募金(11月いっぱい)、歳末たすけあい(12月いっぱい)と実施されることとなります。

みなさまのご理解とご協力をお願いします。

道路愛護ありがとう

ございました

9月5日から3日間おこなわれました道路愛護作業、ありがとうございました。おかげで県道、村道、林道ともスッキリとし、気持の良い道となりました。

雑記

秋、味を楽しむ。

最近では煙がきらわられて調理器が発達してしまいましたが、脂ののったサンマをジュージューと香ばしいにおいをふりまきながら焼くのは、秋の風物詩でした。そんな風景を見かけなくなってもう久しくありません。野菜、果物にも季節がなくなりりましたが、本物の季節となると、それぞれの味覚を競ってくれます。クリ、サトイモ、ネギ、ホウレンソウ、シユンギクなどがみずみずしく食卓をかざり、栄養のバランスをとつてくれます。ミカンはこれからが最盛期、九州産から出回り、四国、近畿地方から全国に行きわたります。はじめ強かった酸味は正月を越す頃から糖分に変わり、冬の乾燥期のノドをうるおしてくれれます。いわずと知れたビタミンCの塊のようなものですから、たくさん食べて、不足しがちなCの補給をしたいものです。